

2020年3月19日

各位

会社名 株式会社 音 通

代表者名 代表取締役社長 岡村 邦彦
(コード番号 7647 東証第二部)

問合わせ先 代表取締役副社長 仲川 進
(TEL 06-6372-9100)

特別損失の計上、通期連結業績予想の修正
及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

当社は、2020年3月期におきまして特別損失を計上し、2019年5月8日に公表しました2020年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、食料品・生活雑貨小売事業における店舗収益性を抜本的に改善するため、店舗の収益実績と将来にわたる潜在収益力などの定量的観点と、競合や周辺マーケット状況などの定性的観点により店舗を多角的に分析した結果、競争力が低いと判断した店舗につきまして、閉店、店舗設備など資産の減損、在庫ならびに資産の処分などを実施することといたしました。

その結果、店舗閉鎖損失として311百万円、減損損失として210百万円、棚卸資産処分損として139百万円、固定資産除却損として93百万円を、2020年3月期第4四半期連結会計期間に特別損失として計上する見込みとなりました。

2. 通期連結業績予想数値の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	15,600	280	230	102	円 銭 0.52
今回修正 (B)	14,830	127	84	△700	△3.58
増減額 (B-A)	△770	△153	△146	△802	—
増減率	△4.9%	△54.6%	△63.5%	—	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	15,784	217	200	12	0.07

3. 修正の理由

食料品・生活雑貨小売事業において、競合店舗の増加による競争激化等により既存店の売上が前年を割り込んだことに加え、人件費の増大や不採算店舗30店舗超（予定を含む）の閉鎖とそれに関連する経費の計上、新規出店計画16店舗に対して3店舗の未達等が影響し、売上高、営業利益、経常利益共に計画を大きく下回る見込みです。

カラオケ関係事業は販売売上が苦戦したことから売上高、営業利益、経常利益共に計画を下回る見込みです。

スポーツ事業は年間8店舗の出店計画は達成し概ね好調に推移しているものの、そのうち5店舗が第3四半期以降に集中いたしました。スポーツジムの新規オープン時には新規加入会員に対して会費の無料期間の特典があることなどから費用が先行し、売上高、営業利益、経常利益共に計画を下回る見込みです。

また、上記の特別損失の発生もあり、連結での売上高、利益は共に当初の予想を下回る見込みです。

4. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金 (円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年5月8日)	円 銭 —	円 銭 0.12	円 銭 0.24
今回修正予想	—	0.00	0.12
当期実績	0.12		
前期実績 (2019年3月期)	0.12	0.12	0.24

(2) 修正の理由

当社では、株主に対する継続的な利益の還元を経営上の重要な課題として位置付けており、安定した配当の継続を基本方針としております。しかしながら、上記「2. 通期連結業績予想数値の修正」でもお知らせしましたとおり、当期純利益が予想を大きく下回る見込みとなった為、2020年3月期の配当予想につきましては、誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

(3) 今後の配当について

当社としましては、安定した配当の継続という基本方針のもと、有効な施策の実施により、早期に個別財務内容を配当可能な状態に回復させる予定であります。

また、株主優待制度につきましては、従来どおり継続する予定です。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上